

## 小児等在宅医療連携拠点事業 アンケート調査結果

### 1 岡山県内の小児科入院病棟をもつ13ヶ所の病院にアンケート送付

・入院期間が6ヶ月を超える長期入院児・者について

いる	5ヶ所（合計23名）
いない	7ヶ所
未回答	1ヶ所

### 2 長期入院児・者の状況について

長期入院児・者 23名（一般病棟 18名 NICU 5名）

年齢	男	女	不明	計	率
0～1才未満	1	0	0	1	4.40%
1～5才未満	4	2	6	12	52.20%
5～10才未満	2	3	2	7	30.40%
10才以上	3	0	0	3	13.10%
計	10	5	9	23	100.00%

在院期間	男	女	不明	計	率
6～12ヶ月未満	4	1	3	8	34.80%
1～2年未満	2	1	2	5	21.70%
2～5年未満	3	0	3	6	26.10%
5年以上	1	3	0	4	17.40%
計	10	5	8	23	100.00%

※ 最も長期に入院しているケースは8年5ヶ月（8歳男児）

退院を妨げている理由（複数回答可）

治療継続中	11
家庭の受け入れが困難	9
施設入所を待っている	7
在宅へ向けて準備中	0
その他	2

※ その他の理由としては、気管切開、唾液が多く常に持続吸引している。発熱、嘔吐も時々あり在宅困難なため。

病名としては、NICU入院中では、重症新生児仮死 3名、新生児脳虚血、超低出生体重児。

一般病棟では、低出生体重児、超低出生体重児、脳炎 2名、非ホジキンリンパ腫、肺アスペギルス症、肺動脈閉鎖症、血球貧食症候群、てんかん性発作重責状態、CPA、筋疾患

状態としては、植物状態、寝たきり、気管切開、人工呼吸器、胃ろう、持続吸引、持続点滴、酸素吸入、気管挿管、低血糖